

# りんご黒星病の薬剤耐性菌に対応した防除対策

平成28年から多発が続いている黒星病は、基幹薬剤であったDMI（EBI）剤及びQoI剤に対して耐性が生じたことが要因であることを明らかにするとともに、新しい防除体系を確立しました。

要約

## 研究成果の概要

### 1 背景・目的

黒星病は平成28年から多発が続いており、その原因を明らかにするとともに、新しい防除体系の確立に取り組みました。

### 2 内容

- 数年にわたる多発要因は、生物検定、培地検定及び遺伝子検定により、春季の基幹薬剤のDMI（EBI）剤及び夏季の基幹薬剤のQoI剤に対する耐性菌の広域的な発生であることを明らかにしました。
- 近年、伝染源である被害落葉上の胞子は「開花直前」よりも早い「ふじの展葉1週間後頃」から多く飛散し始めることを明らかにしました。
- そのため、「ふじの展葉1週間後頃」から「ふじの落花20日後頃」までを重点防除時期とし、春季の防除は、基幹薬剤であったDMI（EBI）剤を使用しない防除体系に変更しました。
- 夏季の防除は、基幹薬剤であったQoI剤を使用しない、キャプタン剤を主体とした防除体系に変更しました。

### 3 活用等

新たな防除体系により、DMI（EBI）剤及びQoI剤耐性の黒星病を防除することができます。

#### 旧防除対策

散布時期	薬剤
開花直前 (5月上旬)	DMI（EBI）単剤
落花直後 (5月中旬)	DMI（EBI）混合剤
落花15日後頃	DMI（EBI）混合剤



#### 新防除対策

散布時期	薬剤
展葉1週間後頃 (4月下旬)	ベフラン液剤25
開花直前 (5月上旬)	SDHI剤
落花直後 (5月中旬)	ユニックス顆粒水和剤47 +チウラム剤 又はジマンダイセン水和剤
落花10日後頃	チウラム剤 又はジマンダイセン水和剤
落花20日後頃	チウラム剤 又はジマンダイセン水和剤

春季の防除体系の変更

## 関連情報

- りんご病害虫防除暦に新しい防除体系を掲載しています。
- りんご病害虫防除暦は、毎年、更新されています。
- 詳細については、平成29、31年度普及する技術・指導参考資料を参照してください。  
[https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/nosui/hukyuugijutu\\_kajyumokuji.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/nosui/hukyuugijutu_kajyumokuji.html)

りんご研究所 病虫部

Tel. 0172-52-2331

E-mail nou\_ringo@aomori-itc.or.jp



青森産技

あおもりの未来  
技術でサポート